

## V 単純集計結果



## 1. 四万十川の保全に対する取組

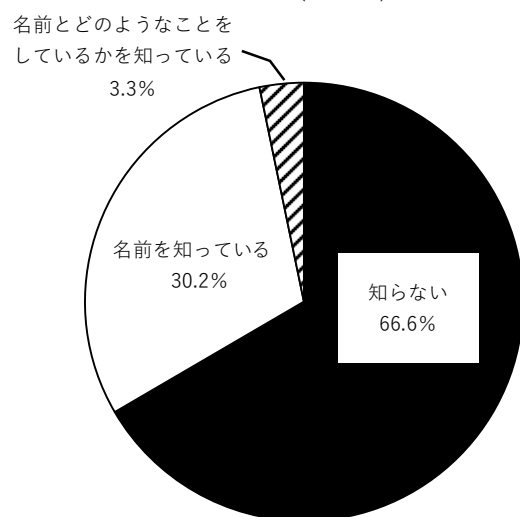
### 【「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか】

「知らない」 66.6%

「名前を知っている」 30.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」 3.3%

◇ 「公益財団法人四万十川財団」という組織を知っているか  
(N=461)



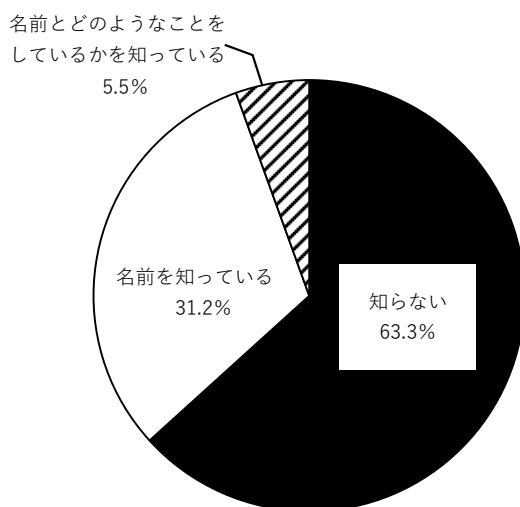
### 【「四万十川条例」を知っているか】

「知らない」と答えた人が 63.3%

「名前を知っている」と答えた人 31.2%

「名前とどのようなことをしているかを知っている」 5.5%

◇ 「四万十川条例」を知っているか(N=471)



#### <特記事項>

問1、問2ともに「知らない」と答えた人が6割以上を占め、依然「公益財団法人四万十川財団」及び「四万十川条例」の認知度が低いことがうかがえた。

## 2. 四万十川との関わり

### 【この1年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか】

「ある」47.9%（前回から5.9ポイント減少）、「ない」52.1%

→「ある」と答えた人について

#### <頻度>

割合が高い項目：「年1~2回くらい」43.9%、「2~3ヶ月に1回くらい」21.3%、「月1~2回くらい」19.5%

これらを合わせると、34.9%が「月に1~2回くらい」以上は川に出かけている。  
（前回から9.1ポイント減少）

#### <誰と出かけたか>（複数回答）

割合が高い項目：「ひとり」40.4%（前回から7.4ポイント減少）

「友人、知人」37.2%（前回から1.0ポイント増加）

「家族（小学生以下の子どもを含む）」32.6%（前回から1.1ポイント増加）

#### <川で何をしたか>（複数回答）

“誰と”ごとに割合が高い項目：

「家族（小学生以下含む）」「水泳、水遊び」67.6%

「家族（小学生以下含まない）」と「散歩、ジョギング、散策」33.3%

「親類」と「水泳、水遊び」44.7%

「友人、知人」と「釣り、魚とり」30.9%

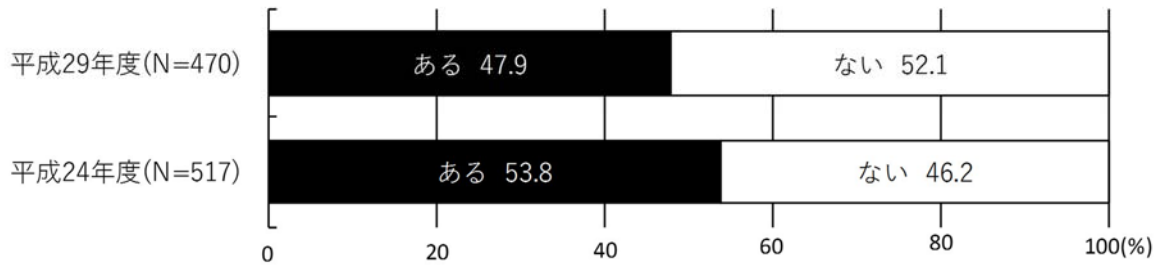
「ひとり」で「散歩、ジョギング、散策」50.0%

「その他（の人）」と「清掃活動などのボランティア活動」60.9%

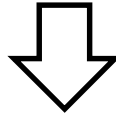
#### <特記事項>

- ・四万十川流域に暮らす人の半数近くが川に出かけている。（そのうちの約3割の人が月に1回以上は川に出かけている）
- ・「ひとり」および「その他」と出かけた人は減少している一方、「親類」と出かけた人は5.8ポイント増加している。
- ・「家族（小学生以下の子どもを含む）」および「親類」と出かけた人の多くは「水泳、水遊び」を、「ひとり」で出かけた人の多くは「散歩、ジョギング、散策」を、「その他（の人）」とは「清掃活動などのボランティア活動」が高い割合となっており、誰と出かけるかによって目的が明瞭に異なっていることがうかがえる。

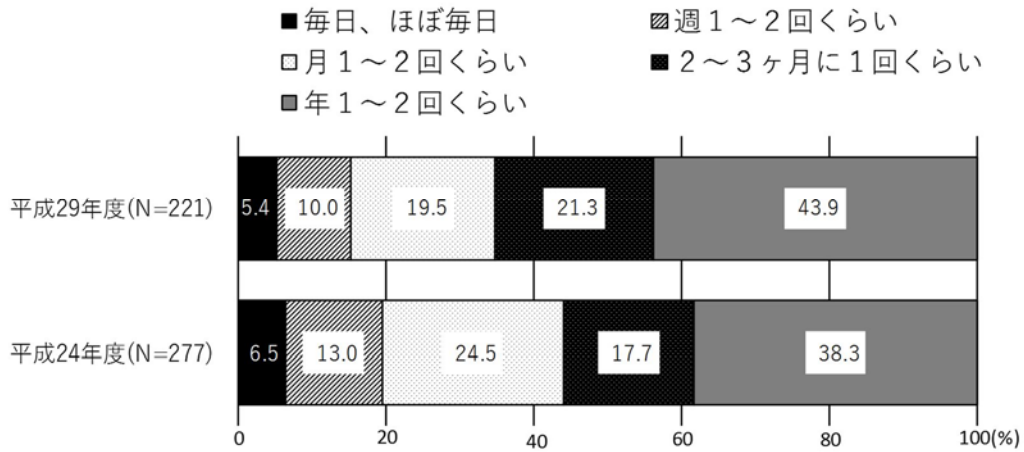
◇ 「この1年間に仕事以外で川に出かけたことがあるか」



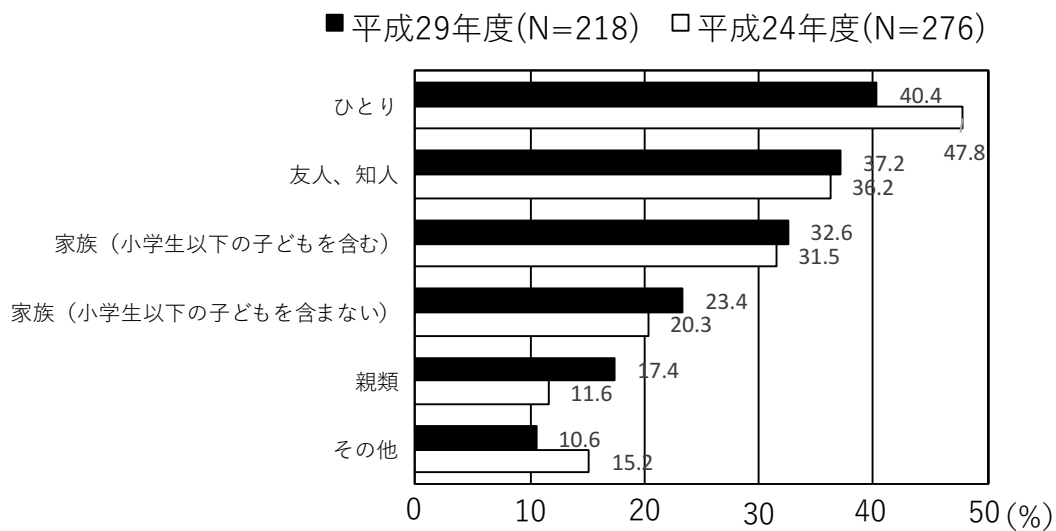
「ある」と答えた人の回答



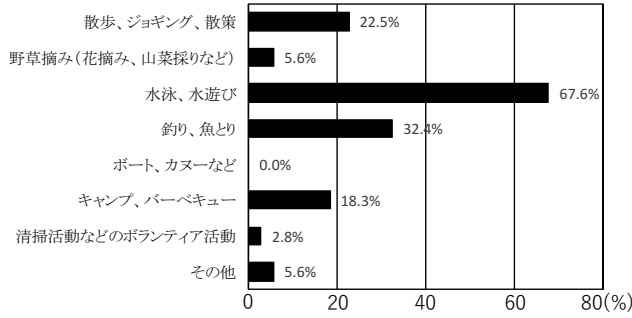
◇ 「川に行く頻度」



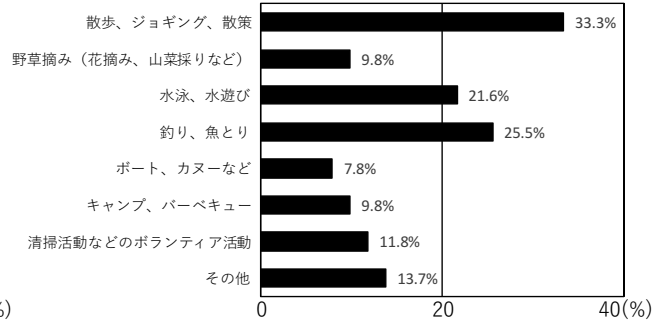
◇ 「誰と出かけたか」



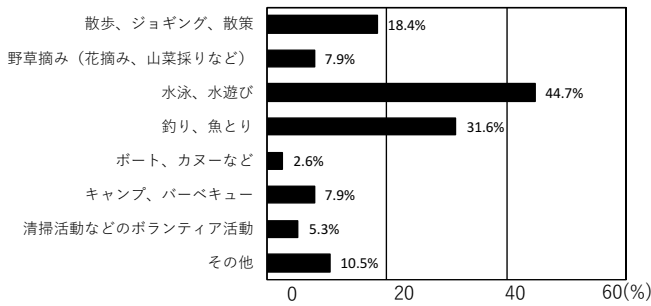
◇「家族（小学生以下の子どもを含む）と川で何をしたか」



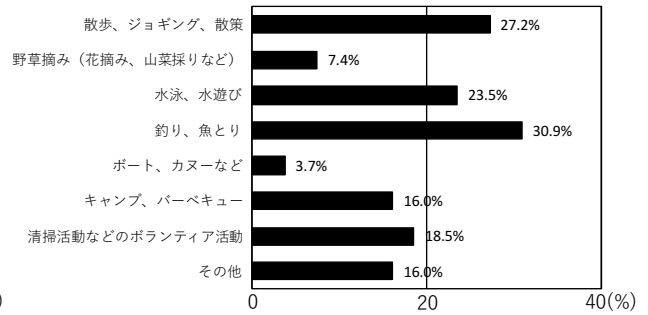
◇「家族（小学生以下の子どもを含まない）と川で何をしたか」



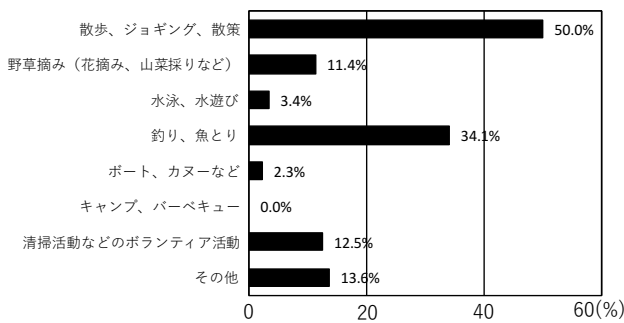
◇「親類と川で何をしたか」



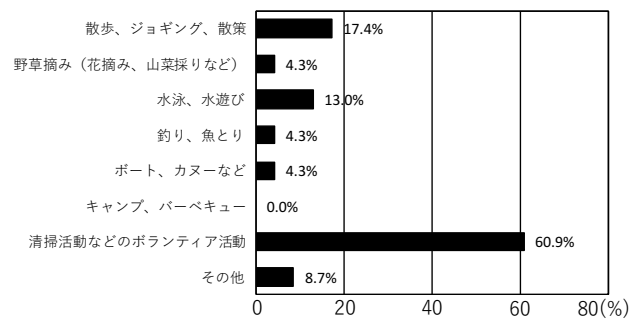
◇「友人、知人と川で何をしたか」



◇「ひとりで川で何をしたか」



◇「その他と川で何をしたか」



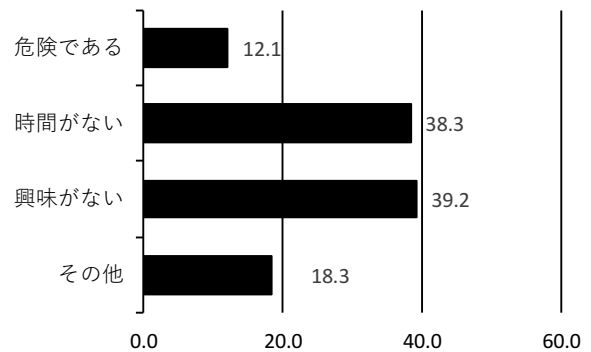
→ 「ない」と答えた人について（複数回答）

【川にでかけなかった理由】

「興味がない」39.2%、「時間がない」38.3%、  
「その他」18.3%、「危険である」12.1%

◇川に出かけなかった理由（複数回答）

(N=240)

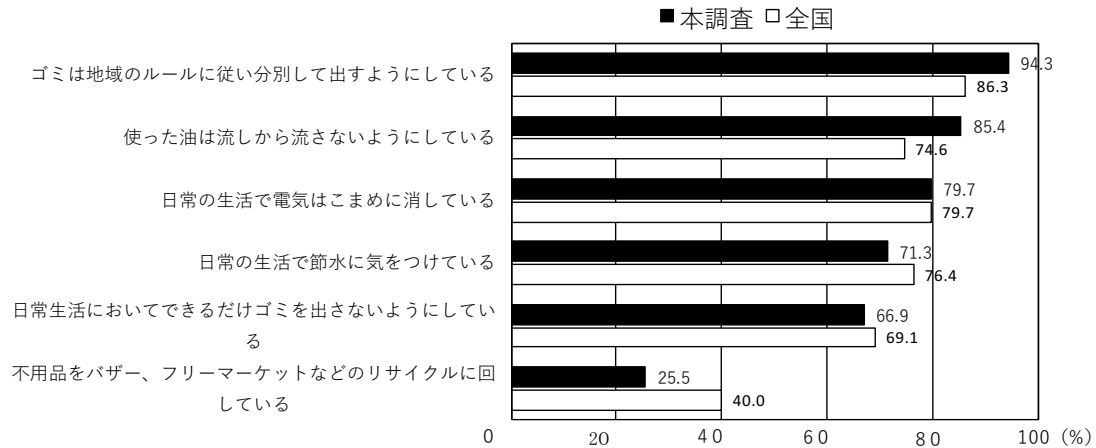


### 3. 環境を守る行動や意欲

#### 【環境を守る行動】

環境を守るために日頃行っている行動についての質問で「いつも行っている」と「だいたい行っている」を合わせた『実施率』を項目ごとにまとめ、環境省の「環境にやさしいライフスタイル実態調査（平成 28 年度）」と比較した。

◇「環境を守るために日頃どのようなことをおこなっているか」全国調査（平成 28 年度）との比較（「いつも行っている」+「だいたい行っている」）



実施率が全国調査よりも上回っている項目：

- ・「ゴミは地域のルールに従い分別して出すようにしている」 94.3%  
（全国調査より 8 ポイント高い）
- ・「使った油は流しから流さないようにしている」 85.4%（全国調査より 10.8 ポイント高い）

実施率が全国よりも下回っている項目：

- ・「日常の生活で節水に気をつけている」 71.3%（全国調査より 5.1 ポイント低い）
- ・「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」 66.9%  
（全国調査より 2.2 ポイント低い）
- ・「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」 25.2%  
（全国調査より 14.5 ポイント低い）

実施率が全国調査と同じ項目：

- ・「日常の生活で電気はこまめに消している」 79.7%

#### <特記事項>

- ・比較した 8 項目中 3 項目において本調査の『実施率』が全国調査の『実施率』を下回った。
- ・特に「不用品をバザー、フリーマーケットなどのリサイクルに回している」の実施率は、全国調査と比較して 14.5 ポイントと大きく下回り、バザー、フリーマーケットへのなじみが薄いことがうかがえる。

【家庭で日頃、排水口や三角コーナーに水切り袋を設置しているか】

割合の多い項目：「いつも使っている」67.0%（前回から2.5ポイント増加）

「全く設置していない」12.4%（前回から1.9ポイント減少）

【家庭で日頃、生ゴミのたい肥化に取り組んでいるか】

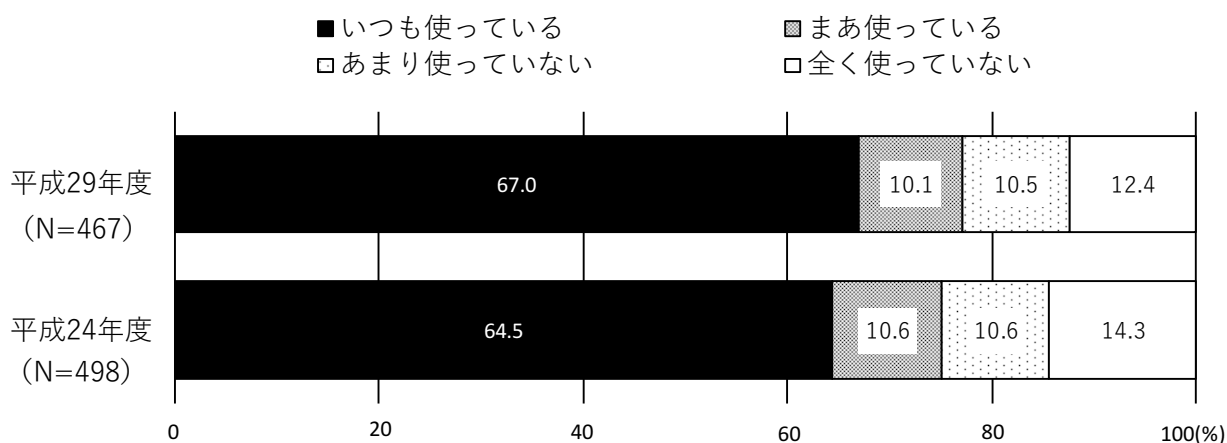
割合の多い項目：「全くしていない」51.9%（前回から3.2ポイント増加）

「いつもしている」20.9%（前回から2.5ポイント減少）

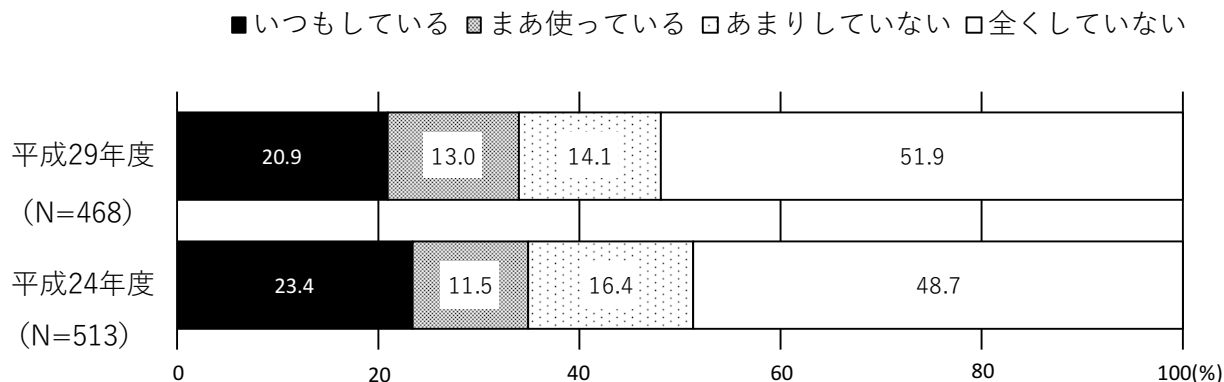
<特記事項>

- ・前回調査と比較すると、水切り袋の使用率は増加した。
- ・生ゴミ堆肥化については取組みに減少の傾向が見られる。

◇「家庭における水切り袋使用の有無」



◇「家庭における生ゴミ堆肥化への取り組みの有無」

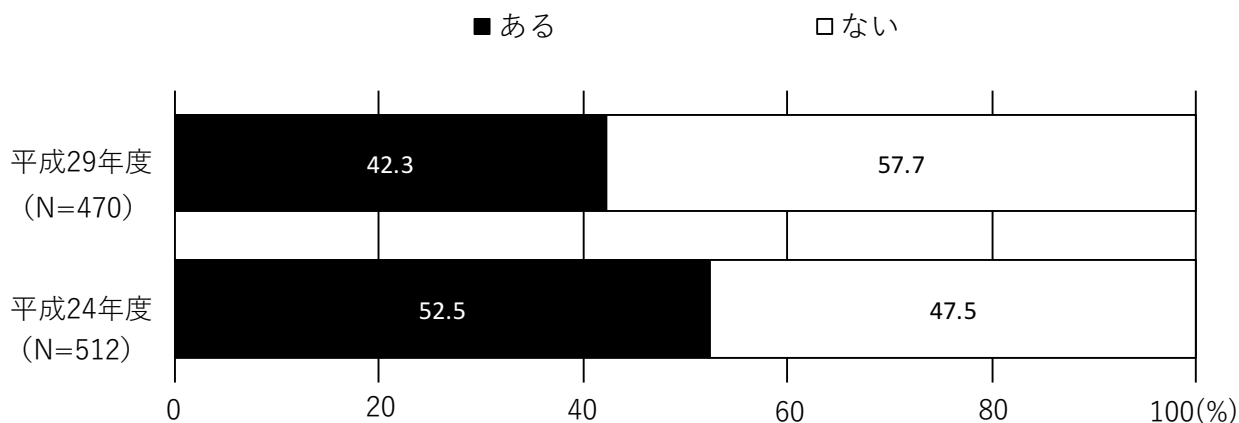




【環境に関する活動に参加したことがあるか】

「ある」42.3%（前回から10.2ポイント減少）、「ない」57.7%

◇「環境に関する活動への参加の有無」

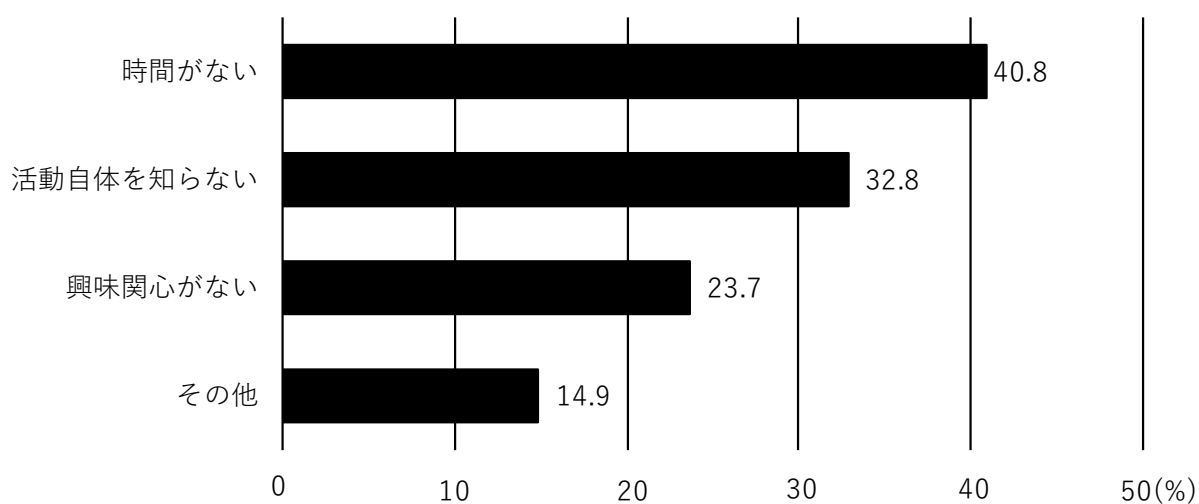


→「ない」と答えた人について

【環境に関する活動に参加しない理由】

「時間がない」40.8%、「活動自体を知らない」32.8%、「興味関心がない」23.7%、「その他」14.9%

◇「環境に関する活動に参加しなかった理由」



【四万十川や流域の環境を保全するために、寄付を募るとすれば、協力してもよいと思うか】

「思う」77.3%（前回から4.3ポイント減少）、「思わない」22.7%

【環境保全のための寄付協力可能な上限額】

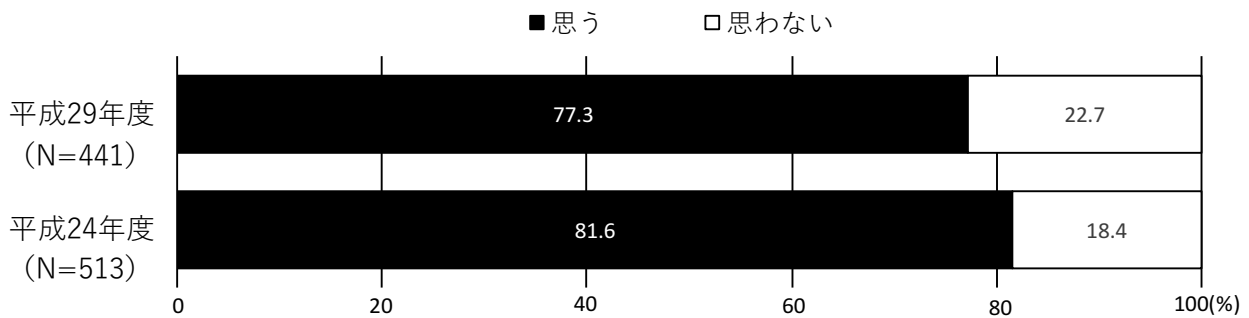
割合の多い項目：

「～500円くらいまで」24.8%、「～100円くらいまで」29.3%、「～1,000円くらいまで」20.0%

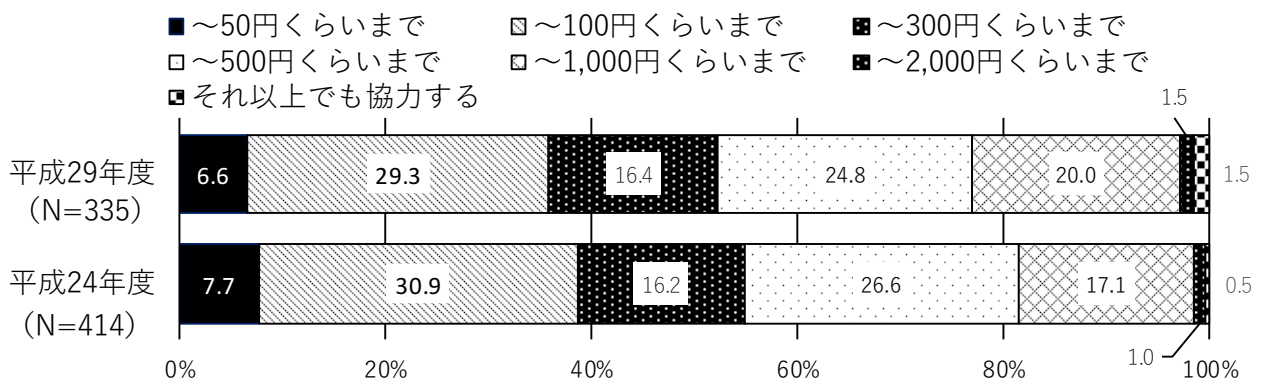
<特記事項>

- ・「思う」と答えた人はやや減少した。
- ・一方で、寄付しても良いと答えた人が可能な協力金額については、64.2%が「(1カ月あたり)～300円まで」以上と回答しており、前回より高額を回答した人の割合が増加している。

◇「四万十川流域環境保全のための寄付への協力意思」



◇「寄付協力可能な金額の上限」



#### 4. 通信手段について

##### 【携帯電話などの所有有無】

「持っている」83.6%（前回から5.4ポイント増加）、「持っていない」16.4%

##### 【携帯電話などでのネット利用状況】

割合の多い項目：「いつも利用している」38.7%、「全く利用していない」32.2%

<特記事項>

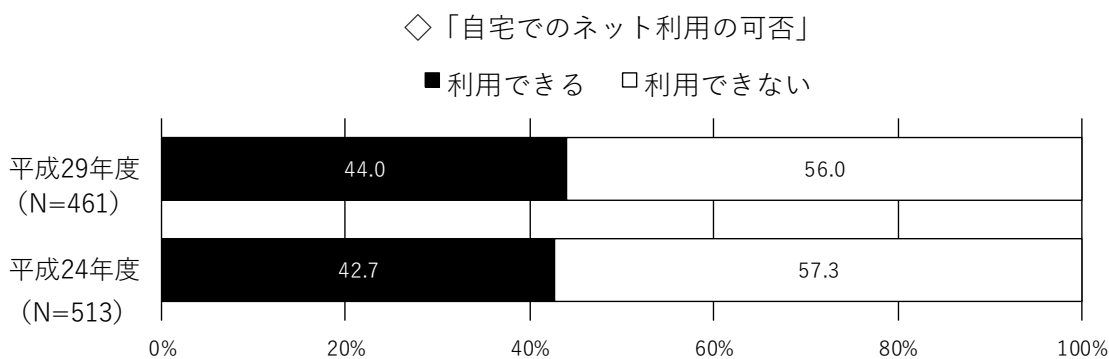
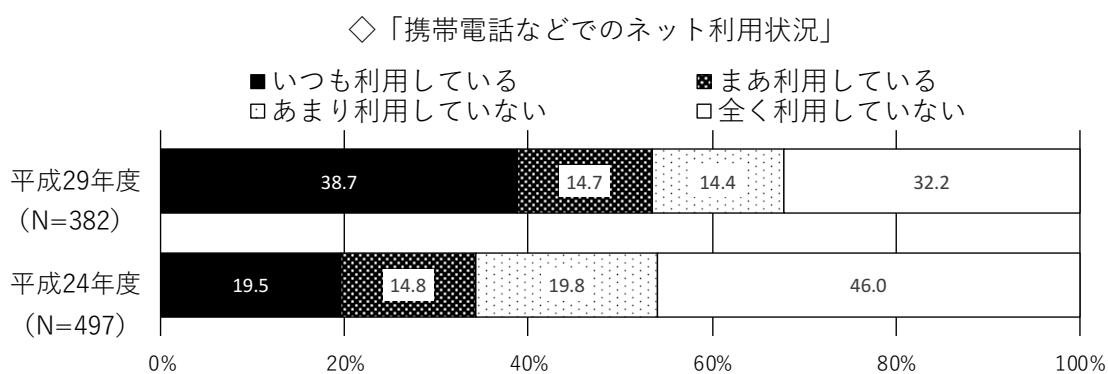
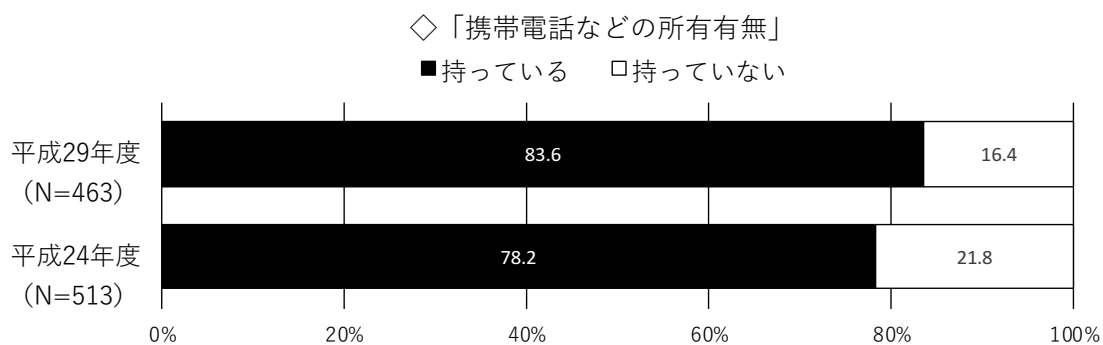
・「いつも利用している」+「まあ利用している」は53.4%（前回から19.1ポイント増加）

##### 【自宅でのネット利用の可否】

「利用できる」44.0%（前回から1.3ポイント増加）、「利用できない」56.0%

<特記事項>

・携帯電話など及びインターネット利用ともにさらに普及が進んだことがうかがえる。



## 5. 居住意思と生活の満足度

### 【現在の居住地域に住み続けたいと思うか】

「そう思っている」86.8%（前回から1.4ポイント増加）、「そう思っていない」13.2%

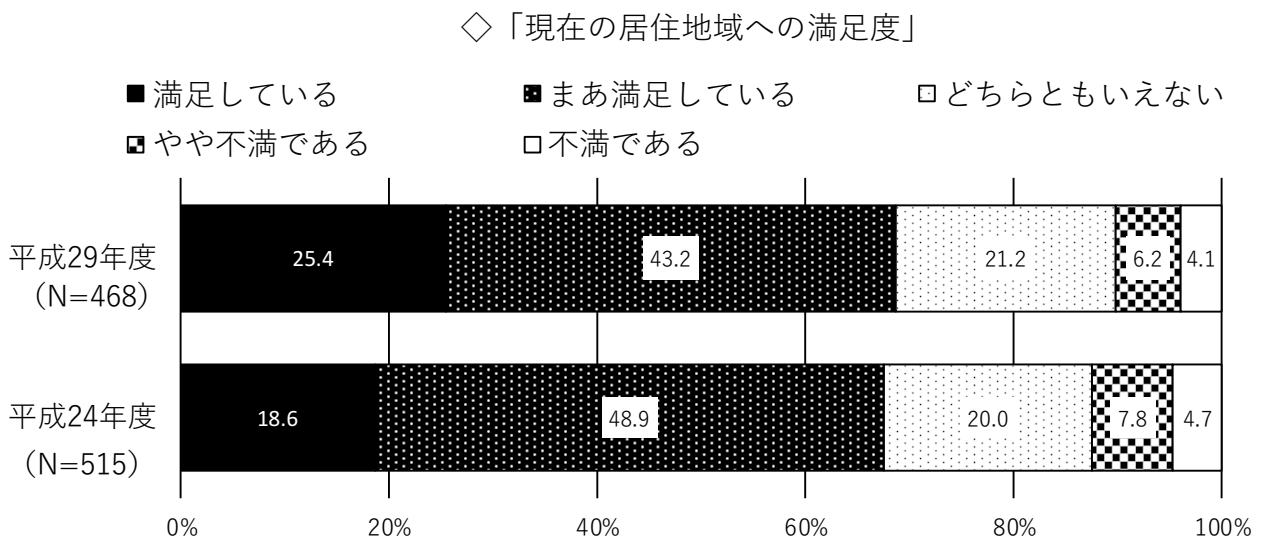
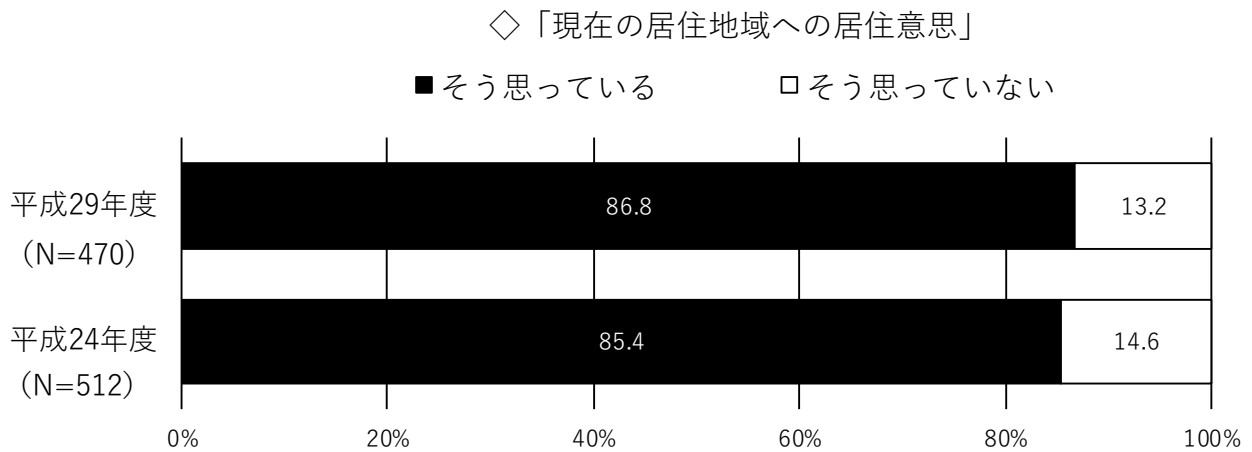
### 【現在の居住地域への満足度】

満足度の高い項目：「まあ満足している」43.2%（前回から5.7ポイント減少）

「満足している」25.4%（前回から6.8ポイント増加）

#### <特記事項>

- ・満足度において、『満足している（「満足している」＋「まあ満足している」）』は68.6%と、前回から1.1ポイント微増した。
- ・居住意思及び満足度ともに前回から大きな変化はなかった。



【現在の居住地域に対する満足率】

項目ごとに『満足率』（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）を確認した。

満足率の高い項目：「まわりに親しめる自然があること」74.3%

「日々の買い物など日常生活に不便がないこと」42.9%

「適切な診察や治療が受けられること」41.0%

「保育所、幼稚園が充実していること」39.7%

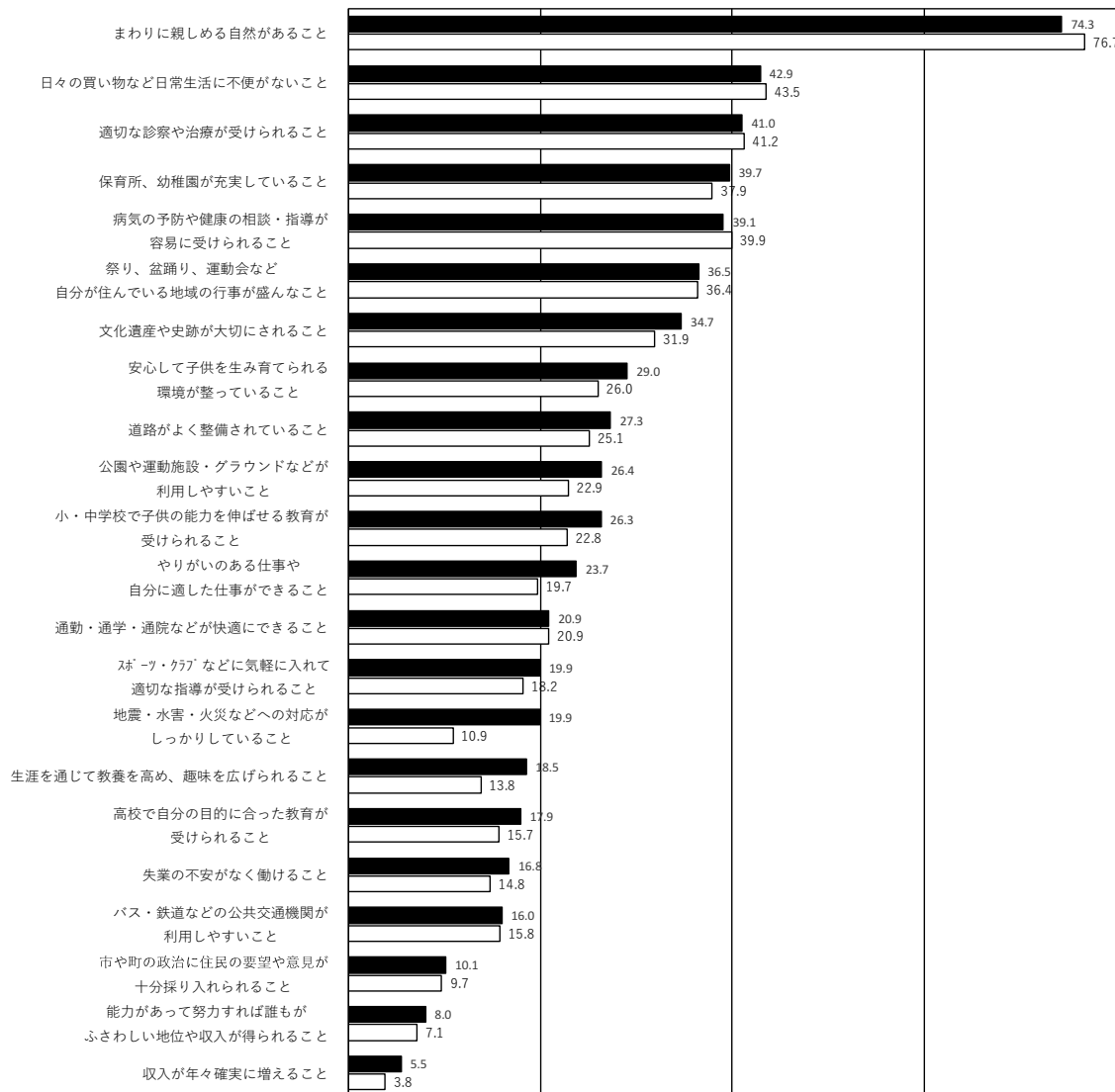
「病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること」39.1%

<特記事項>

- ・前回と比較すると、「地震・水害・火災などへの対応がしっかりしていること」に対する満足度が最も変化しており、9ポイント増加している。
- ・上位の項目の順位については、前回とほとんど変化はなかった。

◇「いま住んでいる地域に対する満足度」  
（「十分満たされている」＋「かなり満たされている」）

■平成29年度 □平成24年度



80(%)